

わくわく倶楽部

江口グループ

第159号

令和2年10月発行



ギブを重ねることで 「意味のある」存在になる。

江口グループ 代表取締役社長 江口 充

み

なさんこんにちは!いつも江口グループわくわく倶楽部のニュースレターを読んでいただきありがとうございます!今年は暑い日が続きましたね(9月11日現在)。これだけ暑いと今年の冬は暖冬かなって思っていました。先日ニュースでラニーニャ現象が発生し冬は気温が低くなる可能性が高いと言っていました。2018年の大雪はこのラニーニャが原因だったようです。そしたら今年の冬は大雪ですかね???

尾

原和啓さんの「あえて数字からおろる働き方」という本を読みました。新しい価値観が生み出されている今の時代にとっても大事なことが書かれていたと思います。ご紹介したいと思います。

令

和に入って僕たちは昭和の間違いを認められるようになりました。日本企業のトップであるトヨタや、経団連会長は「終身雇用を続けるのは難しい」と、組織が個人を一生守ってくれないということを吐露しました。これからは「個人」で生き残っていかなくてはならない。そんな空気とともに、「自分に力をつけなければならない」「人脈を増やさなければならない」「有名に、何者かにならなければならない」と焦って躍起になっている人もいます。でも、多くの場合、なかなかうまくいかない。「何者かになれば自信がつく」「仕事での心配もなくなる」と思って頑張っても、結果が出なくて、疲れてしまっている人もいないでしょうか。では、人生が100年時代になり、AIが仕事の半分を置き換えるといわれる中、どうしたら生き残れる「何者か」になれるのでしょうか?新型コロナウイルスが流行し、オンラインファーストの社会への変化も加速する今、どうすれば、この激動の時代に組織に依存せず、1人でも、つながりながら自由に働くことができるのでしょうか?

山

口周さんの「ニュータイプの時代」(ダイヤモンド社)に出てくるこの言葉は、まさに変化の時代における個人のあり方を言い表しています。4K、8Kのテレビを思い出してもらおうとわかりやすいですが、4K、8Kと

いった機能で勝負しようとしても、ユーザーにとってはその差がわかりにくく、過当競争に陥りやすいといえます。何より機能は、情報化社会の中では、簡単にコピーできてしまうので、たとえ先陣を切っていてもあっという間に追いつかれ、安売り競争になってしまいます。

これは人も同じです。ネットで誰もが高速学習ができる今、「役に立つ」だけのスキルは、競争過多になります。たとえば、米国のコールセンターは、フィリピンやインドなど、時給が半分から3分の1でも英語が話せ、優秀な大学を卒業した熱心な人たちによって代替されてしまいました。これは10年以内にリアルタイム自動翻訳で日本でも起こることです。そしてこの先20年でAIがあなたの「役に立つ」を無効化していくでしょう。

そんな中で大事なことは「他の誰かではなく、あなたに仕事を頼みたい」という、誰かにとって意味がある存在になることです。自分が誰かにとって「意味のある」存在になる。その積み重ねで、たくさんの人の「意味のある」存在となり、最終的には「何者かになる」のだと、僕は思っています。

僕

は日々、見かけたニュース、読んだ本など、様々な情報について、それが誰のためになりそうかを考えながら、約20人の人にメッセージを送り続けています。毎日20通のGIVE(ギブ)メールは、僕にとっては日々の習慣ですが、その中に受け取った友人にとって「有ることが難しい」ものがあると、「ありがとう」という言葉が返ってきます。つまり、毎日のメールは友人にとって「役に立つ」ものになると同時に、そのメールを通して、僕はその友人が何を欲しているのかわかるのです。これを続けていくと、僕の存在は、彼にとって、その旅にほんの少し同行する「意味のある」友人へと少しずつ変わっていきます。

老

後の貯金、2000万円じゃ足りないらしいから、もっとお金をためなくっちゃ!」今僕たちは、変化の時代がもたらす不安と焦りに煽られるあまり、ついわかりやすい“数”ばかり追ってしまっ (中面に続く→)

4代目の江口グループ現場だより

“目の前の人”よりも“自分のこと”にばかり一生懸命になってしまっているのではないのでしょうか。商いの基本は「有り難う」の物々交換でした。でも、物々交換はお互いに相手を探し出すことが大変で、お肉や野菜などは交換相手を探しているうちに腐って価値が減ってしまいます。したがって、お金という「価値を数値化」するものに1回換えて、お肉ならお肉屋さん、野菜なら八百屋さん、誰かが一手に引き受けて、物とお金を交換するほうが効果的なのです。こうして今は、お金の発明によって、交換相手を探さなくても必要な物を手に入れて生きていくことができるし、贅沢もできるようになりました。便利ですね。でも、それによって誰かから「有り難う」と直接言われる機会を失い、誰かにとって「意味のある」存在になれる機会を減らしてしまいました。我々は「有り難うの意味」を忘れ、「数字のオバケ」にとりつかれやすくなってしまいます。では「数字のオバケ」に負けずに「自分の物差し」を育てるにはどうすればいいのか？

その答えは、

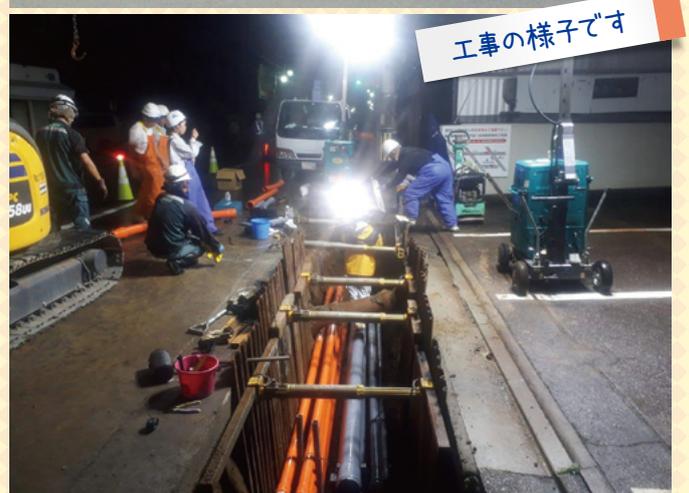
- 自分が誰かから「有り難う」と言ってもらえるGIVE (ギブ) を繰り返すこと
- ギブを繰り返すことによって、特定の誰かにとっての「意味のある」存在になること
- 特定の誰かにとって「意味のある」存在になることを重ねていくこと

それによって、ある意味の流れの中で特定の人たちに呼ばれる「何者かになっていく」。つまり、あえて数字を追う世界からおりることで、「意味のある自分」を見つける…。それがこの本の構造です。

「ギブ アンドテイク」という言葉があります。何かを与えたら何かをもらう、逆に、何かをもらったら代わりに何かを与えるという、お互いに与えあうことを言います。持ちつ持たれつという意味でもあります。また、「ギブアンドギブ」という言葉もあり、これは見返りを期待せず、相手に貢献し続けることです。リアルで「ギブアンドギブ」をやると、時として「テイクアンドテイク」という凶々しい人が寄ってくる場合があります。しかし、ネット上のブログや、情報発信等だと、比較的それはやりやすいです。費用があまり発生しないからです。意味ある存在になるためにギブを重ねることができる人でありたいと思いました。

小松市から建設優良工事表彰を頂きました!

小 松市から建設優良工事表彰を頂きました! ありがとうございます(^^) 小松市龍助町で工事した「市道龍助町九龍橋線電線共同溝工事 (1工区)」電線共同溝の現場です。9月1日に表彰式が行われ表彰状をいただきました。この電線共同溝の現場は旧北國街道の街並みの景観保全、そして安心安全な街づくりのために、街を無電柱化にするための、電線共同溝を設置する工事です。工事をした道路は、車の通行量が多くお店が並び地下埋設物は複雑そして夜勤もあり、とても難しい現場でした。このとても難しい現場を頑張ったことも含めて評価して頂きました。嬉しいです!!! これを励みに、小松市の発展のために更に頑張ります! 現場代理人だった松田さん、おめでとうございます! そしてお疲れ様でした!



このニュースレターの他に、江口組公式 SNS でも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式 Facebook ページ

www.facebook.com/eguchigumi/



(株)江口組公式 Twitter

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
 皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^^)!

心を磨く飛翔会

江口組には昔から、若手を育成する勉強会「飛翔会」というのがあります。僕も江口組に入社した時はこの生徒でした！入社間もない年数の社員を対象とした勉強会です。現場監督としての技術を磨いてもらうために、先輩社員が講師となり月に1回開催していました。しかし今年から社長の僕が講師となって開催しています。社長として、僕が教えたいことは、若手社員のみならず技術を教えるんじゃなく、心を磨く場にして欲しいなことです。来年の6月まで毎月1回開催する予定になっていますが、そこでしっかりと心を磨く時間にしようと思います。人は誰もが心の中にダイヤモンドの原石があります。ダイヤモンドは磨くことで光ります。だから人間の心も磨くことで光を放ちます!! 若手のみんなが光り輝けるように、お手伝いができたらと思うし、輝く社員になって欲しいと願ひ、1年間飛翔会の講師を頑張りたひと思います!



若手の心を磨く勉強会

飛翔会の様子



の取材などいつもよりも賑やかなごみ拾ひでした。そしてここ数年ゴミの数が減っていましたが、3月のごみ拾ひがコロナで中止になったせいか、いつも以上にゴミがいっぱいありました!約1時間ちょっとで2トンダンプ2杯分くらいのゴミが出ました~おかげさまで梯川もキレイになりました。

えういう活動も大切やと思いますが、まずはゴミを捨てないことだと思います!! 川、そして海をキレイにしましょう!!



梯川をキレイに!

沢山のゴミが集まりました

駆けつけてくれた芸人マテンロウ

第34回梯川ごみ拾ひに参加しました!

9月12日に34回目をむかえる梯川協議会のごみ拾ひ活動に会社のみならず参加しました!毎年3月と9月に梯川流域の人たちが参加するボランティア活動です。この日は、海ゴミゼロ2020運動、MRO絶好調W

カレー王子のカレーメーカー

010

カレーの市民アルバが高校生の時から大好き過ぎて、お店に許可なくFacebookページを作って投稿していたら、いつの間にか「カレー王子」と呼ばれるようになりました。アルバのカレーが大好きなカレー王子がメニューを紹介するコーナーです。よろしくお願ひします。

今ご紹介するのは「**チキンカツカレー**」です。ヘルシーな鶏肉、女性にもオススメのカレーライスです。お肉がとても柔らかくて美味しいです!トンカツのガッツリ感が少なく、とても優しい感じがするチキンカツです。もちろんアルバの美味しいカレーとの相性も抜群!とても美味しいカレーライスですよ(^^)

女性におすすめチキンカツカレー



アルバが大好きカレー王子



して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください!毎日どれかは必ず更新しています!



(株)江口組公式 Instagram
eguchigumi



(株)江口組公式 YouTube
えぐチャンネル!



工事部
松原小亜美

工事部
酒井 夢大

インターハイでの発表

ロから体の中身全部飛びでるくらいにドキドキしました。最近では二級の施工管理技士試験で飛びだしそうになりましたが、ギリギリ大丈夫でした

松原

あ、ドキドキ。に経験は思い浮かばないですが、唯一、誇られるのは「入試の合格発表」が思い出に残っています。誰が「合格」になったのか友達とソワソワしながら行ったことが思い出

酒井(夢)

工事部
山根 勝敏

総務部
村木絵里香

VRゴーグルで崖の上に立たされたときとパラグライダーの運転席からの360° 動画を見させられたときは、ドキドキとヒヤヒヤ+(プラス)腰が抜けそうでした。最新技術は年寄りには優しくないと感じました。

山根

わりと最近のことなのですが、去年、友達と行ったアイドルの握手会でとっても緊張(ドキドキ)しました。短い時間の中で、自分の気持ちを伝えないといけないので、会える嬉しさと、ちゃんと伝えられるかの不安、あと会場の寒さなどで震えとドキドキが止まらなかったです(笑)

スタッフ通信

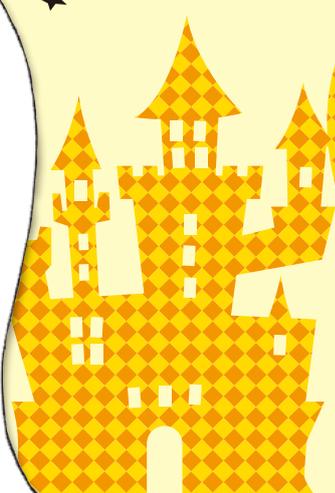
こんにちは。秋も深まってきて、すごしやすい日々になってきましたね。今月は**“人生で一番ドキドキした瞬間”**です。

工事部
小山南海子

土木施工2級試験の帰道のこと。ナビに従って実家へ行くとしたら津幡の山の中へ…。

どんどん道が怪しくなり…。夕暮れが迫っていて、細くて車幅分しかない砂利道で、横は崖。生きて帰れるの?と、ドキドキしました。本当に、永遠に山道抜けられない気がしていました。

ちなみに、道中にあった弁慶岩。薄暗い中に苔むしたでっかい岩があるだけであんなに怖いものなんですね。笑



お店を紹介、みんなに知ってほしいこと、ご意見・ご感想などがございましたらご連絡下さい!!



発行元

EGUCHI

江口グループ
株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311(代)
eguchigumi@eguchi-group.co.jp